

金属探し隊

5月16日（月）に生徒会総会が開かれました。すでに各委員会ごとに今年度の活動はスタートしており、各学年の委員の皆さんが活躍しています。総会では、改めて大切なことが確認されました。

今年度は、「凡事徹底4か条」の取組でも各委員会が積極的に活動しています。さらには本部役員が中心となって取り組む新しい企画もあります。それが「金属探し隊」です。これは、学校のすぐ近くにある吾妻支所と一緒に進めるプロジェクトです。

新型コロナウイルス感染症により、皆さんの活動が思うようにいなくなり、3年目となりました。しかし、この状況でも工夫をすればできることはあると考えました。以前から、「地域」の皆さんと何かできないだろうかと思っていたところでした。

そんなときです。吾妻支所の方から、こんなお話がありました。

吾妻地区のまちづくり計画に「美しい地域景観（けいかん）を維持する活動」があります。その一環として、不燃ごみに分類される「小型金属」の回収活動を行いたいと考えています。野田中学校の生徒会を活動主体として、身近なごみ問題に目を向けたいのです。

これは、“渡りに船”だと思いました。すでに、吾妻支所の方と松野さんが、1年生の駐輪場に回収BOXを設置してくださっています。その愛称を本部役員が考えてくれました。磁石につく物を入れるボックスが、“つくくん”、つかない物を入れるボックスが、“つつかん”です。イメージキャラクターも作るそうです。

小型金属として回収する物は次のとおりです。

鍋（なべ） やかん フライパン おたま ボール スプーン フォーク
ベルトのバックル 小型スコップ 園芸用支柱 傘の柄 釘（くぎ）
クリップ ヘアピン など

集まった小型金属は、専門の業者に引き取っていただきます。これから、回収日や回収方法、地域にもお知らせをするポスターやチラシなどについて、本部役員を中心に話し合い、プロジェクトを進めていくようになります。

私の方から、本部役員にこの話を持ちかけたときの、あの目の輝き、反応のよさは忘れません。期待どおりに、自分たちでプロジェクト名を考え、ボックスに愛称をつけ、どんどん進めてくれています。

「金属探し隊」の活動を通して、皆さんが少しでも地域との結び付きを感じてくれたらと思います。“つくくん”も“つつかん”も、皆さんの力でいっぱいになるように、とりあえずお家にある「小型金属」を取っておいてください。

* 渡りに船 必要なものや望ましい条件がたまたま具合よくそろうことのとえ。